

政策推進資金（DX デジタル推進枠）に関する事業計画書【記載例】

(あて先)

年 月 日

滋 賀 県 知 事

住 所 大津市京町 4 丁目 1 番 1 号
組合名または
企 業 名 (株) 商工製作所
代 表 者 名 商工 太郎
業 種 ●●機器メーカー
電 話 0 7 7 - 5 2 8 - 〇〇〇〇

政策推進資金（DX デジタル推進枠）の融資を受けて下記の事業を実施します。

1. 資金使途・所要資金等の内容

<input type="checkbox"/> 設備資金	<input type="checkbox"/> 運転資金	<input checked="" type="checkbox"/> 併用
-------------------------------	-------------------------------	----------------------------------------

※いずれかにを付けてください。

※併用の場合であっても、借入申込書（要綱様式第 1 号）はそれぞれ作成してください。

DX に関する設備資金の内容	
導入設備	顧客管理システム
導入時期	令和 7 年 5 月中旬

DX に関する運転資金の内容	
内 容	システム導入および利用にかかるサポート支援や研修にかかる費用
支払時期	令和 7 年 5 月下旬等

2. 本資金を利用した具体的な取組（具体的に記載してください。）

上記設備を導入し、次のとおり取り組む。

- ①顧客とのきめ細やかなコミュニケーションの実施
顧客情報を一元管理し、顧客の購買傾向等を分析することで、分析結果をもとにアプローチ方法を最適化し、商談時間の短縮や商談成立の円滑化を目指す。
- ②作業効率の向上
システムへの入力情報が即時に反映され、社内 PC のみならず外出先や出張先等でスマートフォンやタブレット等からも情報を閲覧できることから、社員同士が綿密に情報共有し、事務効率化につなげる。
- ③サポート支援、研修の実施
今回初めてシステムを導入することとなったため、具体的な導入方法や活用方法について外部のシステム専門家からサポート支援を受ける。
また、当該システムの利用方法を社員に伝達したり社員同士で意見交換したりするため、四半期に一回、外部講師を招いた社内研修を実施する。

3. 本資金利用による効果

（例：売上高／顧客数／生産数の増加、作業時間の短縮（効率化）等、該当項目について具体的数値目標を記載（最低一項目は記載のこと））

- ①月間の売上額
現状：1,000 千円×10 件＝10,000 千円→本資金利用後：1,000 千円×15 件＝15,000 千円
- ③1 件あたりの接客時間 【作業工程名：取引先との商談時間】
現状：1 時間 30 分 → 本資金利用後：1 時間

当金融機関（本・支店）は、滋賀県信用保証協会とともに、本資金を活用して融資対象者の資金繰りを支援します。

金融機関本・支店名
代表者名